

# 抗凝固療法の中和と再開：実践と理論的根拠

3月21日 14:40～15:40

場所: 第44回日本脳卒中学会学術集会 STROKE 2019、パシフィコ横浜  
会場: 会議室4 (カンファレンスセンター 5F、502)

## 講師陣

鈴木倫保, MD, PhD

座長：山口大学医学部  
脳神経外科  
山口県宇部市

末廣栄一, MD, PhD

山口大学医学部  
脳神経外科  
先進救急医療センター  
診療准教授  
山口県宇部市

豊田一則, MD, PhD

国立研究開発法人国立循環器病  
研究センター  
脳血管内科  
大阪府吹田市

矢坂正弘, MD, PhD

国立病院機構九州医療センター・  
脳血管センター  
脳血管・神経内科 科長、福岡県

Medscape  
**LIVE!**

なお、本プログラムは CSL Behring  
社による教育的助成金の補助を受けています。

Medscape  
EDUCATION

## スケジュール

14:40～14:45

ご挨拶/イントロダクション

鈴木倫保 MD, PhD

14:45～15:00

動画による症例発表: ワルファリンによる抗凝固療法中に発生した頭蓋内出血

鈴木倫保 MD, PhD

15:00～15:30

専門家討論会: 抗凝固療法中の出血への対応を最適化する :

エビデンスとガイドライン

鈴木倫保 MD, PhD

末廣栄一, MD, PhD

豊田一則, MD, PhD

矢坂正弘, MD, PhD

15:30～15:38

質疑応答

15:38～15:40

要約と結論

鈴木倫保 MD, PhD

## 参加対象者

このアクティビティは、日本の救命救急医、麻酔科医、神経科医を対象としています。

## 学習目標

本アクティビティ終了時、参加者は以下のことができるようになります。

- 抗凝固作用中和薬としての4因子プロトロンビン複合体濃縮製剤 ( 4F-PCC ) に関する知識を深める
- 致命的な出血の発生時に、迅速に対応して抗凝固作用の中和薬を選択する能力を高める